

中小・小規模企業の人材確保育成事業の検討について

平成20年12月25日

1. 事業の趣旨

中小・小規模企業にとって、即戦力となる高度な技能・専門知識等を有する人材や将来的に企業の中核となりうる人材を確保するのは難しいのが実態。雇用の流動化は、中小・小規模企業が優れた人材を確保する好機と捉え、中小・小規模企業への求職機会を向上させることによって、悪化する雇用情勢にも資することとしたい。

そこで

普段は大企業に向かいがちな人材を、地域の中小・小規模企業に「橋わたし」する。

職を失った人やこれから職を求める学生が、地域の中小・小規模企業が求める人材になるよう、分野ごとに必要となる知識、技能を身につけてもらう「実践型研修」を行う。

という2つの観点から各種事業を実施する。

2. 事業の概要

(1) 平成20年度二次補正予算を活用して、中小・小規模企業の人材育成・確保を目的に中小企業団体等に基金を造成し、各種研修事業、マッチング支援事業等を実施する予定。

(2) 基金を活用する事業としては、

(橋わたし)

全国の大学、高専の協力を得て、大学生、高専生、求職者向けに行う就職説明会。経営者の顔の見える形での情報発信。

(実践型研修) - 現場での実業研修も行う。

-1 商業サービス業、ものづくり、観光、農商工連携の4分野で、商工会議所、商工会等が人材育成コースを開催。

-2 太陽光発電システムの設置、省エネ・バリアフリー改修など、住宅工事に必要な人材を育成。

-3 商店街での創業を支援。

-4 海外市場を目指す中小企業の人材を育成。

などがある。

